

あさな!

令和2年10月13日(火) No.22

文責：矢田部 瑞穂

家庭学習で何を身に付けるか

わたしたちの成長
 四年 今野
 (写真：右から3番目)

わたしたちは成長している
 一年生
 何も分からなかった
 二年生
 少しずつ成長していき
 いろんな事が分かってきた
 三年生
 一、二年生のお手本になるように
 みんなが努力した
 そして四年生・・・
 けんかは多くなってきたけれど
 毎日が楽しくなってきた
 みんな個性はバラバラだけど
 みんな、得意、苦手はあるけど
 その分、バズルみたいで楽しい
 来年はどうなるかな?
 楽しみな
 たった一回の
 人生を
 「大切にしよう」
 ということを
 学校は
 教えて
 くれたんだ



今野さんが大切に思う
 4年生の仲間たち



今年、担任の先生方をお願いして、週に1回「自由勉強ノートを校長が見る日」をつくってもらっています。上は、10月7日(水)に4年生のノートを見た時に、今野さんが自学ノートに書いていた詩です。なんだかとても嬉しくなりました。担任の佐々木比呂子先生に聞いてみると「気持ちを書いて表現することが得意で、よく詩を書いてきてくれます。」と、話していました。
 私は、担任をしている時、必ず4月に子どもたちに話していた言葉があります。「この一年の終わりの3月に、全員が『この学級の一員で良かった』と思える学級にしよう!」と。今野さんの詩を読みながらその熱い気持ちがよみがえりました。今、校長として、この一年の終わりの3月に68人全員と、教職員17人全員が「この学校の一員で良かった。」そう思える学校にしたい!心の底からそう思いました。

家庭学習でこんないいことが!!

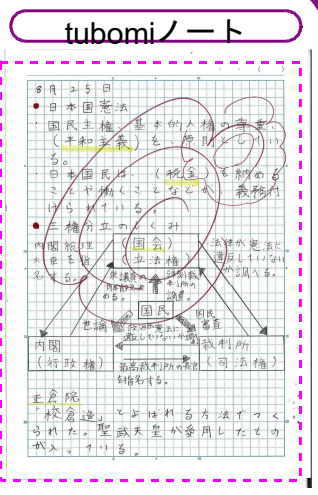
① **学習内容の定着**：学校で「わかった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。
 ② **脳の活性化**：脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになります。
 ③ **学ぶ習慣をつける**：毎日続けることで、やがて、当たり前の習慣になります。
 ④ **がまん強さ・根気・集中力をつける**：家庭学習の最大の敵はテレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。
 ⑤ **家族のふれあい**：家族のふれあいの機会が増えることは、子どもの精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。
 ⑥ **担任とのふれあい**：子どもたちの頑張りに対する担任のコメント。そのやりとりにより担任との絆が深まります。

瞳かがやく浅小っ子コーナー



6年 小川

私が6年生の自由勉強ノートを見るのは、月曜日。休み明けということもあり、その学習量には感心する。中学校に向けてがんばっている感じが伝わってくる。全員のノートを紹介したいくらいだが、代表で(写真右)に小川 さんの社会科の学習をした時のノートを掲載した。学び方のよさは①文字だけでなく図を使って理解に繋げている②キーワードにはマーカーして強調している③今回は社会科だが様々な教科に挑戦している④ノート隅々まで利用して大事に使っている⑤文字に間違いがなく丁寧である等々。担任の永塚香保子先生は「小川 さんは、毎日手を抜かない!」と太鼓判を押す。「努力ができる」というのは、一つの才能である。小川 さんの努力の先に見える未来がキラキラ輝いている。



瞳かがやく浅小っ子コーナー

1年
松村

ちょっと前の話になって恐縮ですが、どうしても伝えたくになりました。9月30日の1学期終業式に私から「浅小プライド」の話をしました。学習でも運動でも、もっともっと本気にならないといけないという趣旨の話をして、最後に子どもたちに「今日の話聞いて、決意表明してくれる人はいないか。」と問いかけました。なんとなく緊迫感のある話だったので子どもたちは何を言ったらいいいのか迷ったのだと思います。ピーンと張り詰めた空気の中、1年生の松村 さんが、手を挙げました。そして、「私は、なんでも本気でがんばります。」と、大きな声で簡潔に発言しました。このときの発言にはいくつかのハードルがありました。①校長の話の趣旨を理解して話すこと②いつも以上に緊張感のある雰囲気だったこと③全校児童と教職員が見ていること…そのような中、唯一手を挙げたのが松村さん。本当に心の底から拍手をしました。今年度は、集会の時にできるだけ子どもたちと対話をしています。突然、指名されることもあります。いつも考えながら人の話を聞くことが重要になります。「浅小プライド」学力もしっかり身に付けたいと思います。松村さんに続け！です。



北教育事務所指定訪問 理科授業研究会

10月9日（金）北教育事務所山本出張所指導主事に来ていただいて、6年生の理科「電気とわたしたちの暮らし」の授業研究会が行われました。「電熱線に電流を流すと発熱するのだろうか」という課題の基、予想した上で実験したり話し合ったりしながら、課題の解決に努めました。指導主事から一番褒めていただいたことは、子どもたちの発言内容の質の高さです。それを引き出した授業者の嶋田康弘教諭の話術も褒めていただきました。理科の授業研究会は、私もこれまで3回しか見たことがありません。理科の授業の在り方について学び合う貴重な時間となりました。

電熱線が発熱すると発泡スチロールはなるのか？実験中！



家庭との連絡体制の強化について

能代市教育委員会より「家庭との連絡体制のより一層の強化」について依頼がありました。次のような状況が発生した場合は、休日であってもできるだけ早い段階で学校に連絡して下さるようお願いいたします。

・交通事故・救急搬送・骨折等のけが・入院を伴う急病・不審者情報・新型コロナウイルス関連での医療機関受診（同居家族を含む）・その他、緊急性のある状況（お子さんの状態の急激な変化等）

情報提供をいただくことにより、学校や市教育委員会ができる支援（児童生徒への配慮・関係機関との連携等）を迅速に行うことが目的です。

〔連絡先〕

・平日の日中 浅内小学校 電話：52-4715
・夜間や休日 教頭 大高 智久

校長 矢田部瑞穂

瞳かがやく浅小っ子コーナー



5年 畠

読書タイムに5年生と過ごしていた時のことです。隣の席の友達が、本を取り替えるために立ち上がった時、消しゴムが落ちました。落とされた友達はそれに気付かず、本棚へ。

その時、その消しゴムをスッと拾って机に上げてあげた 畠 さん。落とされた本人は全く気付かないのに、別に「拾ってあげたよ。」と言わない。そのさりげない優しさが、私にはぐっときます。

畠 さん、「写真撮らせて。」と言うと、一瞬苦い顔をしましたが(^_)。「『私と消しゴム』という題名で写真撮らせて。」と再度お願いすると、消しゴムを持ってこの笑顔。

畠 さんは、先日のスポーツテストのボール投げで33M投げた、野球部に所属する女子です。「自分」というものをしっかりともち、決して流されることのない強さを感じます。本当の優しさは、本当の強さの上に宿る！畠 さんから、感じる「ほんもの」です。

